

(3) 農用地及び農業生産施設

		ア 農用地				イ 農業生産施設							
区分	所在地		地目	現 状	目標 (R9)	種 別	所在地		規 模				
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目標 (R9)		
									棟	m ²	棟	m ²	
所有地	岡山県	津山市	田	600 ^a	600 ^a	牛舎	岡山県	津山市	0	0	1	500	
借入地	岡山県	津山市	田	300 ^a	300 ^a								
	岡山県	津山市	畑		40 ^a								
その他	<div data-bbox="365 1026 786 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 特定作業受託面積 (生産～販売までの基幹作業全てを受託) </div>												
<div data-bbox="920 1273 1099 1321" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 延べ経営面積 </div>													
経営面積合計				900 ^a	940 ^a	経営面積合計				0	0	1	500

<p>③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置</p> <p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から2～3km圏内に農用地 <div data-bbox="539 181 949 448" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #ffff00; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約化 ・生産の効率化・高度化スマート農業の推進 ・栽培・飼養に係る新技術の導入 ・自給飼料の生産・利用の拡大 ・持続性の高い農業生産方式 ・省エネ技術を利用した生産管理の推進 ・有機農業の推進 ・その他合理化の方向 </div> <p>(目標・措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕畜連携による自給飼料の利用を進める。 ・農作業の集中を避け、機械の有効利用を図るため、作付けする品種を選定する。 ・農地中間管理機構を活用して、農用地の集積・集約化を図り、規模拡大を進める。 	<p>④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置</p> <p>(現状)</p> <p>白色申告。単式簿記。</p> <div data-bbox="1384 165 1778 320" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #e6e6fa; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簿記記帳等の会計処理 ・経営内役割分担 ・経営の法人化 ・その他合理化に向けた取組 </div> <p>(目標・措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青色申告 ・パソコンによる複式簿記を行い、経営状況を把握し、経営管理の合理化を図る。
<p>⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置</p> <p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で作業している。 ・休日が決まっていない。 <div data-bbox="539 916 949 1107" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #add8e6; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に向けた就業規則等の整備 ・相続・経営継承に関する取組 ・多様な人材の育成・定着に向けた取組 ・家族間の役割分担等(家族経営協定を締結している場合) ・その他改善に向けた取組 </div> <p>(目標・措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農繁期はアルバイトなどを臨時的に雇用し、労働力の分散化を図り、計画的に休日を取得できるようにする。 	<p>⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置</p> <p>(現状)</p> <div data-bbox="1384 906 1800 1118" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #90ee90; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>③生産方式の合理化、④経営管理の合理化、⑤農業従事の態様の改善 以外の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化・ブランド化 ・新たな販路拡大や新製品の創造 ・マーケティング力の強化 ・顧客に対する情報発信 ・農業生産工程管理(GAP)の導入 </div> <p>(目標・措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度資金や補助制度を活用し、計画的に機械や施設の導入を図る。

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営にあっては役員の氏名)	年齢	性別	代表者との続柄(法人経営にあっては役職)	現 状			見通し (R9)			常時雇 (年間)	実人数	現 状	0人	見通し	0人
				担当業務	主たる従事者	年間農業従事時間	担当業務	主たる従事者	年間農業従事時間	臨時雇 (年間)	実人数	現 状	0人	見通し	3人
津山 太郎	51	男	(代表者)本人	全般	○	1,900	全般	○	1,800			0人	見通し	0人	
津山 花子	51	女	妻	全般		1,600	補助		1,200			0人	見通し	3人	
津山 一郎	30	男	子	補助		1,600	全般		1,600			0人	見通し	60人	

(参考) 生産方式の合理化に係る農業用機械・施設等

農業用機械等の名称・性能	現 状	目 標 (R9)	数 量 (新規及び更新取得分)	農業用機械等の名称・性能	現 状	目 標 (R9)	数 量 (新規及び更新取得分)
トラクター20ps	1台	2台	1台	導入または更新予定の台数を記入			
トラクター40ps	1台	2台	1台				
田植機4条	1台	1台					
田植機8条	無し	1台	1台				
コンバイン4条	1台	2台	1台				
コンバイン5条	1台	1台					
コンバイン6条	無し	1台	1台				
動力散布機	無し	1台	1台				
防除用ドローン	無し	1台	1台				
色彩選別機	1台	1台					
ホイールローダー	無し	1台	1台				
バックホー	無し	1台	1台				
乗用草刈機	1台	1台					
軽四トラック	1台	2台	1台				
フォークリフト	1台	2台	1台				

制度資金を利用する場合は、必ず記入

備考 「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び設備、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)

制度資金利用の有無	有	有の場合	ア 予定年度・資金・使途 イ 資産及び負債の現状 ウ 今後の資金需要等	令和5年度・スーパーL資金・トラクター、田植機、コンバインの購入 問題無し 特に無し
-----------	---	------	---	--